

# ESMPRO/UPSManager Ver2.7

## ESMPRO/UPSManager マルチサーバエージェント Ver2.7

### 共通アップデート手順書

#### 目次

第1章	はじめに.....	2
1. 1	機能強化内容.....	2
1. 2	障害内容.....	2
1. 2. 1	ESMPRO/UPSManagerの場合.....	2
1. 2. 2	ESMPRO/UPSManagerマルチサーバエージェントの場合.....	2
第2章	アップデートの適用が必要なバージョン.....	3
2. 1	Windows環境におけるバージョン確認.....	3
2. 1. 1	ESMPRO/UPSManagerの場合.....	3
2. 2	Linux環境の場合.....	3
2. 2. 1	ESMPRO/UPSManagerの場合.....	3
2. 2. 2	ESMPRO/UPSManagerマルチサーバエージェントの場合.....	4
2. 3	VMware環境の場合.....	4
2. 3. 1	ESMPRO/UPSManagerの場合.....	4
第3章	アップデートの準備.....	6
第4章	アップデート手順.....	7
4. 1	Windowsサーバへのアップデート手順.....	7
4. 1. 1	ESMPRO/UPSManagerの場合.....	7
4. 2	Linuxサーバへのアップデート手順.....	7
4. 2. 1	ESMPRO/UPSManagerの場合.....	7
4. 2. 2	ESMPRO/UPSManagerマルチサーバエージェントの場合.....	8
4. 3	VMware ESXiサーバへのアップデート手順.....	9
4. 3. 1	ESMPRO/UPSManagerの場合.....	9
4. 4	更新・追加ファイル一覧.....	10
4. 4. 1	ESMPRO/UPSManagerの場合.....	10
4. 4. 2	ESMPRO/UPSManagerマルチサーバエージェントの場合.....	10
第5章	アップデートの注意事項.....	11
5. 1	ESMPRO/UPSManagerの場合.....	11
5. 2	ESMPRO/UPSManagerマルチサーバエージェントの場合.....	11

# 第 1 章はじめに

この手順書は 以下の製品に対応したアップデートの手順書です。

ESMPRO/UPSManager Ver2.7 (PowerChute Business Editionセット) UL1047-703  
ESMPRO/UPSManager Ver2.7 CoreKit UL1047-912  
ESMPRO/UPSManager Ver2.7 マルチサーバエージェント 基本ライセンス UL1047-704  
ESMPRO/UPSManager Ver2.7 マルチサーバエージェント 1 追加ライセンス UL1047-714

## 1. 1 機能強化内容

項番	機能強化内容
1	新OS対応。 以下のOSを新規にサポートしました。 ・ Red Hat Enterprise Linux 7.1

## 1. 2 障害内容

### 1. 2. 1 ESMPRO/UPSManager の場合

項番	障害内容
1	[マルチサーバ構成の設定] 画面において、スレーブサーバを選択していない状態で [マルチサーバエージェントによる電源管理を行う] チェックボックスを ON → OFF に変更した場合、GUI が異常終了する問題を修正。
2	アンダースコア('_')等を含むユーザ名でコンピュータにログオンしている場合、ESMPRO/UPSManager (GUI) から、UM エージェントの登録が正常に行えない問題を修正。
3	LCD パネル付き Smart-UPS を使用しているサーバ環境において、ESMPRO/UPSManager サービスのアプリケーションエラーが発生する場合がある問題を修正。
4	Linux サーバ環境において、ESMPRO/UPSManager サービスが起動直後に停止する場合がある問題を修正。

### 1. 2. 2 ESMPRO/UPSManager マルチサーバエージェントの場合

項番	障害内容
1	Linux サーバ環境において、ドメイン名を含むホスト名の長さが 16 文字以上の場合、ESMRPO/UPSManager から監視不可となる問題を修正。

## 第2章アップデートの適用が必要なバージョン

以下を参照して、ESMPRO/UPSManager のアップデート適用が必要かどうか、ご確認ください。

### 2. 1 Windows環境におけるバージョン確認

#### 2. 1. 1 ESMPRO/UPSManager の場合

ESMPRO/UPSManager の GUI を起動し、「ヘルプ」→「バージョン情報」を表示します。



「ESMPRO(R)/UPSManager Version2.70」または「ESMPRO(R)/UPSManager Version2.71」と表示されていれば、本アップデートの対象製品です。

### 2. 2 Linux環境の場合

#### 2. 2. 1 ESMPRO/UPSManager の場合

以下の手順にて、Linux サーバにインストールされている ESMPRO/UPSManager のバージョンを確認してください。

- (1) ESMPRO/UPSManager をインストールしている Linux サーバにログインしてください。  
(ログインはローカルコンソール、または SSH 経由のいずれでもかまいません。)
- (2) rpm コマンドを実行します。

```
# rpm -q esmproum_update
```

rpm の実行結果が表示されます。

実行結果を確認し、アップデートパッケージがインストールされていないことを確認してください。

(rpm コマンドの実行結果の例 1)

```
package esmproum_update is not installed
```

上記は esmproum\_update がインストールされていないことを示します。

(rpm コマンドの実行結果の例 2)

```
esmproum_update-2.7.2-1.0
```

上記は古い esmproum\_update がインストールされていることを示します。

古い esmproum\_update をアンインストールしてから、本アップデートをインストールしてください。

(rpmコマンドの実行結果の例3)

```
esmproum_update-2.7.3-1.0
```

上記は最新の esmproum\_update がインストールされていることを示します。この場合、本アップデートパッケージのインストールは不要です。

## 2. 2. 2 ESMPRO/UPSManager マルチサーバエージェントの場合

以下の手順にて、Linux サーバにインストールされている ESMPRO/UPSManager マルチサーバエージェントのバージョンを確認してください。

- (1) ESMPRO/UPSManager マルチサーバエージェントをインストールしている Linux サーバにログインしてください。  
(ログインはローカルコンソール、または SSH 経由のいずれでもかまいません。)
- (2) rpm コマンドを実行します。  
# rpm -q esmproum\_m\_update

rpm の実行結果が表示されます。

実行結果を確認し、アップデートパッケージがインストールされていないことを確認してください。

(rpmコマンドの実行結果の例1)

```
package esmproum_m_update is not installed
```

上記は esmproum\_m\_update がインストールされていないことを示します。

(rpmコマンドの実行結果の例2)

```
esmproum_m_update-2.7.1-1.0
```

上記は最新の esmproum\_m\_update がインストールされていることを示します。この場合、本アップデートパッケージのインストールは不要です。

## 2. 3 VMware環境の場合

### 2. 3. 1 ESMPRO/UPSManager の場合

以下の手順にて、VMware ESXi サーバ上の vSphere Management Assistant (以降、vMA と称します)にインストールされている ESMPRO/UPSManager のバージョンを確認してください。

VMware 環境をサポートしているのは、ESMPRO/UPSManager のみとなります。

- (1) ESMPRO/UPSManager をインストールしている vMA に「vi-admin」アカウントでログインしてください。  
(ログインはローカルコンソール、または SSH 経由のいずれでもかまいません。)
- (2) rpm コマンドを実行します。  
# rpm -q esmproum\_update

rpm の実行結果が表示されます。

実行結果を確認し、アップデートパッケージがインストールされていないことを確認してください。

(rpm コマンドの実行結果の例 1)

```
package esmproum_update is not installed
```

上記は esmproum\_update がインストールされていないことを示します。

(rpm コマンドの実行結果の例 2)

```
esmproum_update-2.7.2-1.0
```

上記は古い esmproum\_update がインストールされていることを示します。  
古い esmproum\_update をアンインストールしてから、本アップデートをインストールしてください。

(rpm コマンドの実行結果の例 3)

```
esmproum_update-2.7.3-1.0
```

上記は esmproum\_update がインストールされていることを示します。この場合、本アップデートパッケージのインストールは不要です。

## 第3章アップデートの準備

ダウンロードしたファイルを解凍すると、以下のファイルが作成されます。

ファイル名	内容
ESMUM-027-003.pdf	本アップデート手順書 (PDFファイル)
Setupcard_8.pdf	セットアップカード(PDFファイル)
Windowsフォルダ	ESMPRO/UPSManagerのWindowsサーバ用アップデート
esmproum_update-2.7.3-1.0.i386.rpm	ESMPRO/UPSManagerのLinux/VMware ESXiサーバ用アップデート (rpmファイル)
esmproum_m_update-2.7.1-1.0.i386.rpm	ESMPRO/UPSManagerマルチサーバエージェントのLinuxサーバ用アップデート (rpmファイル)

## 第 4 章 アップデート手順

以下に、Windows サーバ、Linux サーバおよび VMware ESXi サーバ上の vMA にインストールされている ESMPRO/UPSManager および ESMPRO/UPSManager マルチサーバエージェントのアップデート手順について記載します。

### 4. 1 Windowsサーバへのアップデート手順

#### 4. 1. 1 ESMPRO/UPSManager の場合

本アップデートに含まれる Windows フォルダ配下を、アップデート対象の Windows サーバのローカルディスク上に予めコピーしておいてください。

- (1) Administrator または Administrator 権限のあるユーザにて Windows サーバにログオンしてください。
- (2) ESMPRO/UPSManager の GUI モジュールを起動している場合は、すべて終了させてください。
- (3) エクスプローラを起動して、本アップデートの「Windows」フォルダをコピーした場所へ移動してください。
- (4) 「Windows」フォルダ下にある”UPDATE.exe”を実行してください。
- (5) 「正常終了」した場合、「4. 4 更新・追加ファイル一覧」に記載しているファイル名・サイズ・日付・時間を参照し、正しく更新されたことをご確認ください。
- (6) ESMPRO/UPSManager サーバへアップデートした場合、[管理ツール]->[サービス]から ESMPRO/UPSManager サービス(ESMPRO/UPSManager Service)を起動してください。

### 4. 2 Linuxサーバへのアップデート手順

#### 4. 2. 1 ESMPRO/UPSManager の場合

本アップデートに含まれるアップデート用 RPM ファイル(esmproum\_update-2.7.3-1.0.i386.rpm)を、アップデート対象の Linux サーバの任意のディレクトリに予めコピーしておいてください。

- (1) Linux サーバに root でログインしてください。  
(ログインはローカルコンソール、またはSSH経由のいずれでもかまいません。)
- (2) 予めコピーしておいたアップデート用 RPM ファイルが保存されているディレクトリへ移動し、以下のコマンドにてアップデートの適用を行ってください。

```
# rpm -ihv esmproum_update-2.7.3-1.0.i386.rpm
```

- (3) アップデート適用後、「4. 4 更新・追加ファイル一覧」に記載しているファイル名・サイズ・日付・時間を参照し、以下のコマンドにて正しく更新されたことをご確認ください。

<全対象 OS 共通>

```
# ls -l /opt/nec/ESMUPSM ("-"はアルファベット L の小文字)
```

<Red Hat Enterprise Linux 7.1 の場合>

```
# ls -l /usr/lib/systemd/system ("-"はアルファベット L の小文字)
```

- (4) 以下のコマンドを実行して ESMPRO/UPSManager サービスを起動してください。

<Red Hat Enterprise Linux 5.x~6.x の場合 (x は任意のバージョン) >

```
# /etc/init.d/esmproupsm start
```

<Red Hat Enterprise Linux 7.1 の場合>

```
# systemctl start upsmsvc.service
```

#### 4. 2. 2 ESMPRO/UPSManager マルチサーバエージェントの場合

本アップデートに含まれるアップデート用 RPM ファイル(esmproum\_m\_update-2.7.1-1.0.i386.rpm)を、アップデート対象の Linux サーバの任意のディレクトリに予めコピーしておいてください。

- (1) Linux サーバに root でログインしてください。  
(ログインはローカルコンソール、またはSSH経由のいずれでもかまいません。)
- (2) 予めコピーしておいたアップデート用 RPM ファイルが保存されているディレクトリへ移動し、以下のコマンドにてアップデートの適用を行ってください。

```
# rpm -ihv esmproum_m_update-2.7.1-1.0.i386.rpm
```

- (3) アップデート適用後、「4. 4 更新・追加ファイル一覧」に記載しているファイル名・サイズ・日付・時間を参照し、以下のコマンドにて正しく更新されたことをご確認ください。

<全対象 OS 共通>

```
# ls -l /opt/nec/ESMUPSM ("-"はアルファベット L の小文字)
```

<Red Hat Enterprise Linux 7.1 の場合>

```
# ls -l /usr/lib/systemd/system ("-"はアルファベット L の小文字)
```

- (4) 以下のコマンドを実行して ESMPRO/UPSManager マルチサーバエージェントサービスを起動してください。

<Red Hat Enterprise Linux 5.x~6.x の場合 (x は任意のバージョン) >

```
# /etc/init.d/esmproupsm_m start
```

<Red Hat Enterprise Linux 7.1 の場合>

```
# systemctl start upsm_msvc.service
```



## 4. 3 VMware ESXiサーバへのアップデート手順

### 4. 3. 1 ESMPRO/UPSManager の場合

WinSCP 等のツールを使用して、ESMPRO/UPSManager がインストールされているアップデート対象 vMA の任意のディレクトリ (/home/vi-admin など) に予めアップデート用 RPM ファイル (esmpro\_update-2.7.3-1.0.i386.rpm) をコピーしておいてください。

- (1) vi-admin アカウントにて対象の vMA にログインしてください。  
(ログインはローカルコンソール、またはSSH経由のいずれでもかまいません。)
- (2) 予めコピーしておいたアップデート用 RPM ファイルが保存されているディレクトリへ移動し、以下のコマンドにてアップデートの適用を行ってください。

```
# sudo rpm -ihv esmpro_update-2.7.3-1.0.i386.rpm
```

- (3) アップデート適用後、「4. 4 更新・追加ファイル一覧」に記載しているファイル名・サイズ・日付・時間を参照し、以下のコマンドにて正しく更新されたことをご確認ください。

```
# ls -l /opt/nec/ESMUPSM ("l"はアルファベット L の小文字)
```

- (4) 以下のコマンドを実行して ESMPRO/UPSManager サービスを起動してください。

```
# sudo /etc/init.d/esmproupsm start
```

## 4. 4 更新・追加ファイル一覧

以下では、本アップデートを適用した際に更新・追加される情報のみを記載しています。

### 4. 4. 1 ESMPro/UPSManager の場合

#### ➤ Windows サーバ上の更新対象ファイル

<ESMPro/UPSManager サーバの場合>

■xxx = %SystemDrive%\Program Files (x86)\ESMUPSM // setup 時の既定値

2015/01/13 16:02 302,688 %xxx%\UPS.M.exe

2015/02/12 18:06 167,432 %xxx%\UPSMSVC.EXE

<ESMPro/UPSManager マネージャの場合>

■xxx = %SystemDrive%\Program Files (x86)\ESMUPSM // setup 時の既定値

2015/01/13 16:02 302,688 %xxx%\UPS.M.exe

#### ➤ Linux サーバ上の更新対象ファイル

<全対象 OS 共通>

■/opt/nec/ESMUPSM

-rwx----- 1 root root 168294 6月 10 11:50 upsmSvc

<Red Hat Enterprise Linux 7.1 の場合>

■/usr/lib/systemd/system

-rw-r--r-- 1 root root 269 6月 2 14:20 upsmSvc.service

-rw-r--r-- 1 root root 363 6月 2 14:20 upsmSvc.target

#### ➤ VMware ESXi サーバの vMA 上の更新対象ファイル

■/opt/nec/ESMUPSM

-rwx----- 1 root root 168294 Jun 10 11:50 upsmSvc

### 4. 4. 2 ESMPro/UPSManager マルチサーバエージェントの場合

#### ➤ Linux サーバ上の更新対象ファイル

<全対象 OS 共通>

■/opt/nec/ESMUPSM\_M

-rwxr--r-- 1 root root 57555 7月 17 2014 upsm\_msvc

-rwxr--r-- 1 root root 2998 6月 10 14:44 upsmMenv.sh

-rw-r--r-- 1 root root 256 6月 8 17:13 Version.txt

<Red Hat Enterprise Linux 7.1 の場合>

■/usr/lib/systemd/system

-rw-r--r-- 1 root root 365 6月 8 11:17 upsm\_msvc.target

-rw-r--r-- 1 root root 299 6月 8 11:17 upsm\_msvc.service

## 第5章アップデートの注意事項

### 5. 1 ESMPRO/UPSManagerの場合

本アップデートを適用した Linux、VMware 環境において、ESMPRO/UPSManager のアンインストールを行う場合、必ず先にアップデートの RPM(esmproum\_update)をアンインストールしてください。その後に、本体パッケージの RPM(esmproum)をアンインストールしてください。

(Linux 環境の場合)

```
# rpm -e esmproum_update  
# rpm -e esmproum
```

(VMware 環境の場合)

```
# sudo rpm -e esmproum_update  
# sudo rpm -e esmproum
```

### 5. 2 ESMPRO/UPSManagerマルチサーバエージェントの場合

本アップデートを適用した Linux 環境において、ESMPRO/UPSManager マルチサーバエージェントのアンインストールを行う場合、必ず先にアップデートの RPM(esmproum\_m\_update)をアンインストールしてください。その後に、本体パッケージの RPM(esmproum\_m)をアンインストールしてください。

(Linux 環境の場合)

```
# rpm -e esmproum_m_update  
# rpm -e esmproum_m
```

(VMware 環境の場合)

```
# sudo rpm -e esmproum_m_update  
# sudo rpm -e esmproum_m
```